

競技注意事項

1. 2022年 日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項により競技を行う。

2. 感染症対策に関して

- (1) 競技中・ウォームアップ中以外は、マスクを着用すること。
- (2) 手洗い・手指消毒の徹底。(各自、各チーム内でも準備すること)
- (3) 集団での応援、声を出しての応援の禁止。(拍手での応援)
- (4) 体調チェック表を2枚提出。(提出が無い場合は、出場できない)
- (5) 有観客での大会とする。但し、コロナの感染状況によっては直前に無観客に変更する事もある。

3. 競技について

トラック競技

- ・スタート合図はイングリッシュ・コマンドで行い、不正スタートは1回で失格となる(小学生は除く)
- ・スパイクピンの長さは9mm以下とする
- ・競技運営上、1500m以上の競技については競技運営上支障がでた場合、競技を中止させることがあるので、審判の指示に従うこと。
- ・シューズ規定(厚底シューズ)は、日本陸連競技規定(TR5)を適用する。
トラック種目では800m未満は20mm以下、800m以上は25mm以下とする。

フィールド競技

- ・フィールド計測ライン

	開始		開始		開始
<一般男子走高跳>	1m50	<中学男子走高跳>	1m20	<中学1年男子走高跳>	1m10
<一般女子走高跳>	1m20	<中学女子走高跳>	1m10	<中学1年女子走高跳>	1m00
<一般男子走棒跳>	2m80	<中学男子棒高跳>	2m00		
<一般女子走棒跳>	2m00	<中学女子棒高跳>	1m80		

- ・スパイクピンの長さは9mm以下とする。(走高跳、やり投げは12mm以下とする)
- ・シューズのソールの厚さはフィールド種目で20mm以下とする。(三段跳は25mm以下とする)
- ・投擲の練習は競技場内で実施する。競技場以外での練習を厳禁する。
- ・選手の準備ができ次第、競技を開始する場合がある。
- ・バーの上げ方は参加選手のレベルに合わせて判断する
- ・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投は、2回目以降計測ラインを設ける場合がある。

4. 招集について

- ・トラック競技は競技開始15分前にスタート地点にて行う。
- ・フィールド競技は競技開始30分前に各競技場所にて行う。
- ・トラック、フィールドにまたがって同時刻に出場する競技者は、トラック種目を優先する。招集時および競技場所を離れる際には必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
- ・招集時間に遅れた選手は出場を認めない。
- ・リレー種目に出場するチームは招集完了時刻1時間前までにオーダー用紙を記録室に提出し、その上所定の時間に招集を受けること。オーダー提出後の変更は受け付けない。(オーダー用紙は記録室に用意する)
- ・リレー種目は4人のユニホームをそろえること。

5. 表彰について

- ・中学校の部 各種目の決勝およびA決勝の1位に賞品、8位までの入賞者に表彰状を授与する。
- ・高校・一般の部 各種目の決勝およびA決勝の1位に賞品、3位までの入賞者に表彰状を授与する。
- ・表彰式は行わないので各自で本部席裏の通路まで表彰状を取りに来ること。

6. 競技場内およびその他について

- ・電子機器類の競技場への持ち込みを禁止する。
- ・カメラ撮影については全面禁止とする。(携帯電話やスマートホン等での撮影も禁止とする)
- ・ウォーミングアップについては、競技に差し支えない範囲内で行うこと。フィールド内(芝)を使用する場合は、スパイクの使用を禁じる。
- ・競技者といえども自分が出場している時刻以外は、応援又は付添いのために競技場に入らないこと。
- ・ベンチは当日のみ設営可。前日からの設営は禁止とする。
- また、その日にすべて撤収すること。
- ・メインスタンドにテントの設置を禁止する。
- ・ゴミについては、すべて持ち帰ること。
- ・本部前通路は横断禁止とする。走り終えた選手はスタンド裏の通路を移動してスタート地点に戻ることに。
- ・競技会での傷害は応急処置のみで、以後の責任は持たない。
- ・三重県救急医療情報センターコールセンターが電話・ファクス・携帯電話などをご利用になれます。

コールセンターでは、救急診療が可能な医療機関(一次救急輪番病院など)を24時間電話で案内しています。

※受診する際には、必ずその医療機関へ確認の電話をしてからお出かけください。

電話059-229-1199